

海事人材プロジェクトへの協力

～ 国立高等専門学校(商船学科)5校の教員を対象とした講演会・視察・調査への協力 ～

日本船主協会は、2008年7月に人材確保タスクフォース(TF)を設置し、優秀な日本人船員(海技者)確保のための様々な広報活動等を展開している。

活動に際しては、商船系教育機関(大学、高専、海事教育機構)との密な連携が重要であり、先生方に業界の現状等に関する理解を深めてもらうため、以下の通り講演会、意見交換、現地調査への協力を行った。



講演会の様子

当協会は、5高専の海事人材育成プロジェクトの一環として実施された「海運業、船舶業務に関する講演会(11月19日)」及び「船舶管理、港湾・物流業務現地調査(11月20日)」について協力を行い、同講演会及び視察調査には、5高専より17人の教員が参加した。



講演者 左 田中常務理事、右 淀川係長

11月19日の講演会では、田中常務理事が海運業の概要について、続いて淀川係長がLNG輸送の概要について講演を行った。

その後、会員船社より現役の船長及び機関長を招いて「海運会社の今後の事業展開と必要な人材について」というテーマで5高専の教員との活発な質疑・意見交換が行われた。



左より日本郵船 小川船長、川崎汽船 綾船長、

川崎汽船 竹内船長、商船三井 森口機関長

翌、11月20日には、海洋研究開発機構殿ご協力の下、地球深部探査船「ちきゅう」見学会ならびに川崎汽船殿ご協力の下、研修所にてLNG船荷役機関シミュレータ見学会を実施した。

海洋研究、開発については参加した教員の関心も非常に高く、「ちきゅう」ではそれぞれの見学ポイントに設置された展示パネルや乗組員の説明に真剣に耳を傾けていた。

次の川崎汽船研修所では、神本貴司 研修所所長より同施設や船員教育の概要、LNG船についての説明に続いて、LNG船荷役機関シミュレータを見学した。シミュレータを実際に使用しながら機関室作業訓練等についての説明があり、参加した教員からは多くの質問がなされ、高い関心が伺われた。いずれの見学会も大変貴重な経験となった。

当協会としては、今後も教員から海運の現場・実務について学生に対して有効なフィードバックが図られるようにこうした機会の提供について引き続き対応していきたい。



地球深部探査船「ちきゅう」



「ちきゅう」見学の様子



LNG船荷役シミュレータ見学の様子